

配管保温用ヒーター

# セフティートレースヒーター

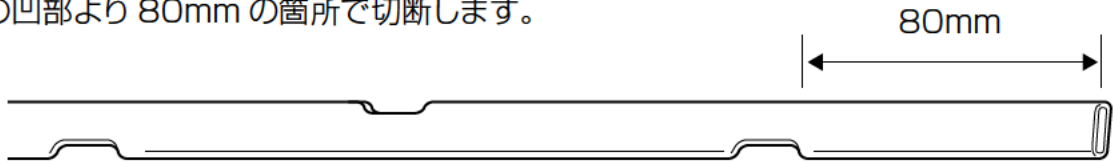
施工要領書



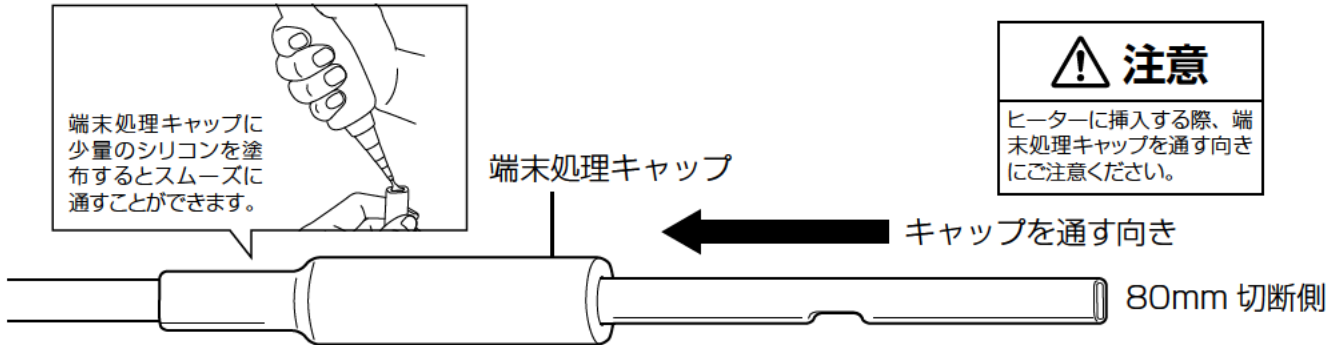
泉電熱株式会社

# リード線側の施工手順

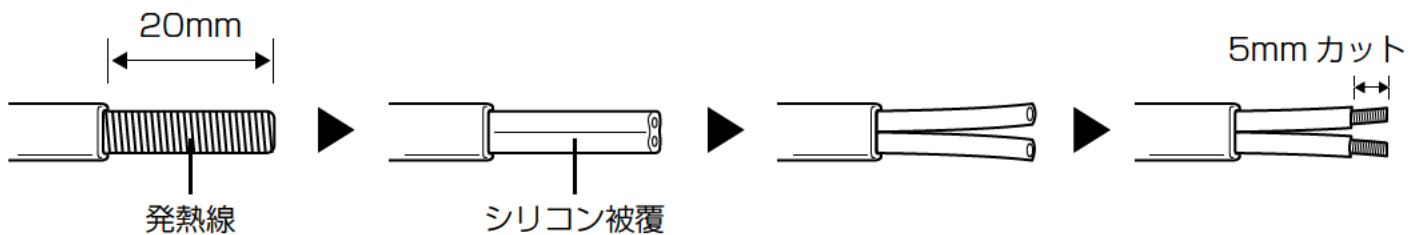
① ヒーターの凹部より 80mm の箇所で切断します。



② ヒーターに切断した側から末端処理キャップを通します。



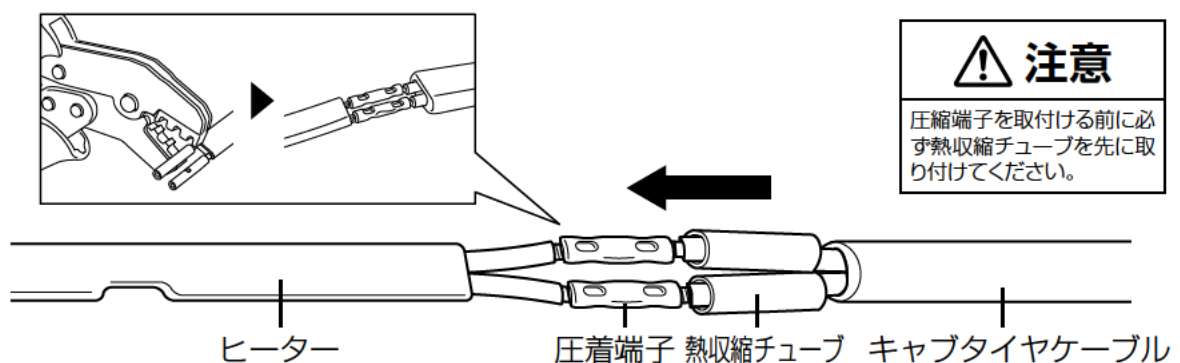
③ 外被及び発熱線を 20mm 取り除き、芯線のシリコン被覆を 5mm カットしてください。



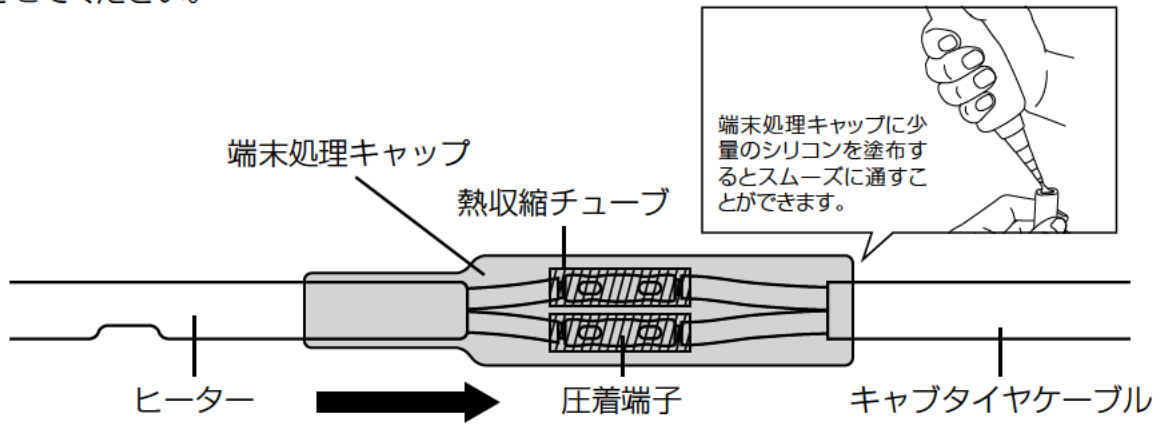
④ キャブタイヤケーブルのシースを先端より 35mm 取り除き、③と同様に絶縁被覆を 5mm カットしてください。



⑤ 圧着端子を取付けます。付属の熱収縮チューブを適当な長さに切断し、予め通しておき、熱収縮をさせてください。その際、圧着端子どうしが接触しないように施工してください。

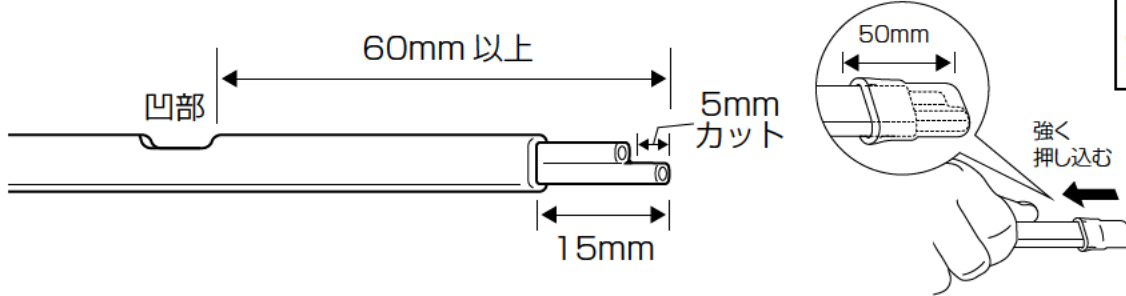


- ⑥ 端末処理キャップ内にシリコンを充てんし、キャブタイヤケーブルがキャップ内に収まるまで移動させてください。



## 端末側の施工手順

- ① ヒーター凹部より 60mm 以上を残して切断します。
- ② 外被及び発熱体を 15mm 取り除いた後、導線と発熱線が接触しないように先端部の凹部側を 5mm 程度カットします。
- ③ キャップ内にシリコンを充てんし、しっかりと押し込んでください。



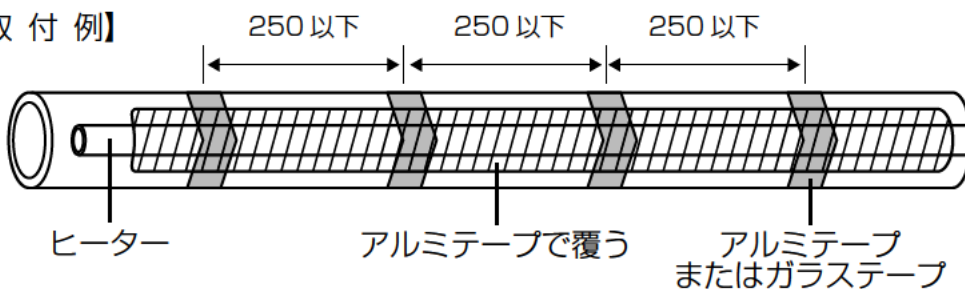
**⚠ 注意**

ハミ出した発熱線は取り除いてください。また、2本の導線は絶対に結合させないでください。

## 配管への固定方法

- ① ヒーターは配管に完全に密着させて施工してください。配管途中でヒーターが密着していない場合はヒーターの断線や過熱により火災の原因となります。
- ② 配管への取付けは基本的には配管に添って直線状に取付けます。容量不足時には2本3本と並行に使用してください。ただしヒーターどうしが接触しないよう施工してください。ラセン巻付けは絶対に行わないでください。断線、火災の原因となります。
- ③ 配管へのヒーターの取付けの際は、ヒーター保存用テープで予め固定してください。

### 【取付例】



**⚠ 注意**

ヒーター全体をアルミテープで覆い、配管へ固定してください。  
銅管専用ヒーターです。樹脂製パイプには使用できません。

## 取 扱 い 上 の 注 意

◎工事前に必ずお読み下さい。

1. このヒーターは鋼管専用です。樹脂製配管への使用はできません。事故の原因となりますので注意下さい。
2. 配管の最高保持温度は60℃です。
3. ヒーターは配管に完全に密着させて施工して下さい。配管途中でヒーターが密着されていない場合はヒーターの断線や過熱により火災の原因となります。
4. 取付け工事や、電源及び終端部処理につきましては、電気工事士の有資格者が実施して下さい。
5. ヒーター取付けに際し、ヒーターをワイヤー等でパイプに直接強く締付けることはさけて下さい。
6. 接続部・端末部の施工は弊社が販売する関連部品を使用し、施工要領書を順守して施工して下さい。施工が不十分な場合、絶縁不良、漏電、火災等の原因となります。
7. キャブタイヤケーブルは、2PNCT 2sq×2c を使用して下さい。
8. 施工時を含め、無理な引張りの力を加えないで下さい。発熱不良や、破損の原因となる場合があります。
9. 通電中はヒーターの加工をしないで下さい。感電、火災等の危険があります。
10. セフティートレースヒーターは、配管、タンク、機器等の凍結防止及び、保温用のヒーターです。埋設及び水中等の投込ヒーターではありません。本来の用途以外に使用された場合、絶縁不良、漏電、火災等の危険性があります。また、振動や駆動する配管、機械部品には使用することはできません。
11. 施工時は外装被覆を傷つけないよう、十分ご注意下さい。漏電、感電、火災等の原因となります。
12. 配管表面の油分、バリ、溶接玉等は完全に除去して下さい。
13. アースを取って下さい。
14. 最大使用長、定格電圧を厳守して下さい。火災等の原因となります。
15. 保温施工後は必ず絶縁テストを行って下さい。1MΩ以上が必要です。
16. 配管内に挿入しての使用はできません。

機 種	許容最大長	機 種	許容最大長
STH-2008	400m	STH-1010	150m
STH-2015	200m	STH-1015	100m
STH-2020	100m	STH-1020	50m